

# 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

## 体力・運動能力の状況（岡山県公立学校の状況）

### 1 調査の実施状況

#### (1) 調査の目的

- 本県における、これまでの体力向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における指導などの改善に役立てる。

#### (2) 調査期間 令和5年4月～7月

#### (3) 岡山県の実施人数

	小学校<5年生対象>	中学校<2年生対象>
児童生徒数（実施校数）	15,519人（363校）	14,338人（158校）

※ 小学校には特別支援学校小学部、義務教育学校前期課程、中学校には特別支援学校中学部、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程を含む

※ 政令指定都市である岡山市は、義務教育の実施について、財源や人事、組織に関する権限を有し、それに基づいて岡山市の実態を踏まえた目標や指標を設定し、独自の教育施策を推進している。

本調査では、県民の皆様に、岡山県全体の状況をお知らせするため、岡山市における結果も含んだ数値を公表している。

#### (4) 調査内容

##### ア 実技に関する調査（新体力テスト8項目で実施）

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン(中学校：持久走も可) 50m走、立ち幅とび、ボール投げ(小学校：ソフトボール、中学校：ハンドボール)

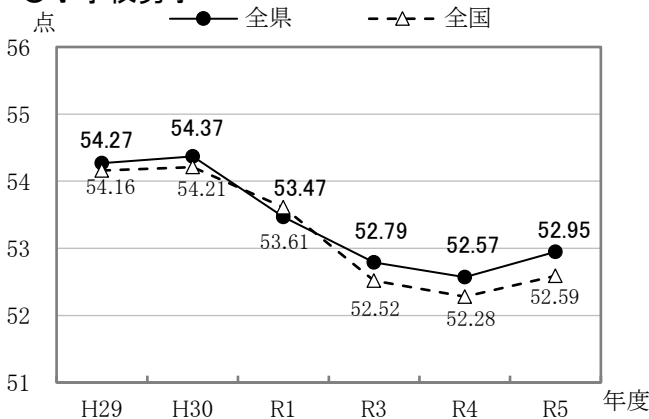
##### イ 質問紙調査 □児童生徒：運動習慣、体育授業等の項目

□学 校：子どもの体力向上に係る取組等に関する項目

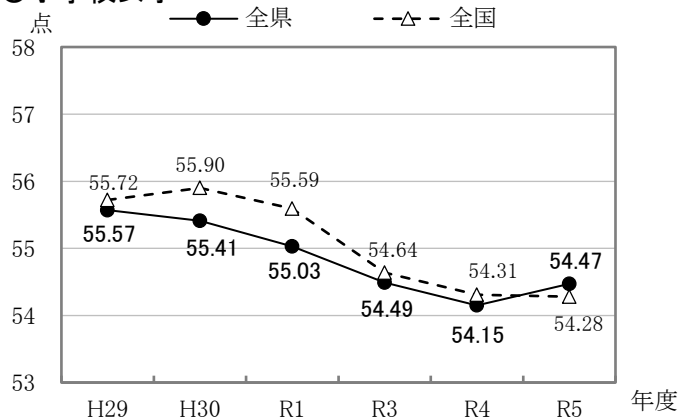
### 2 調査の結果（公立学校）

#### (1) 体力合計点の年次推移

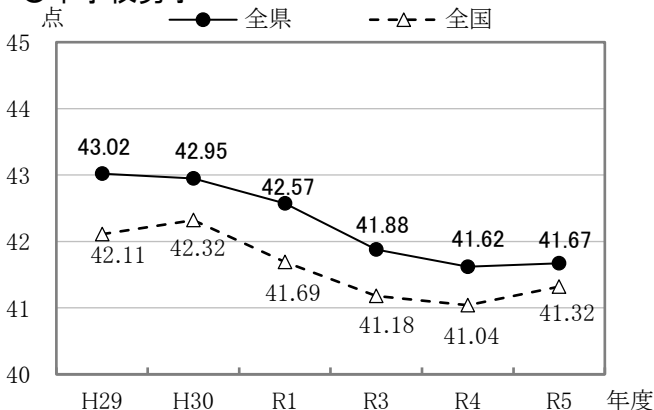
##### ○小学校男子



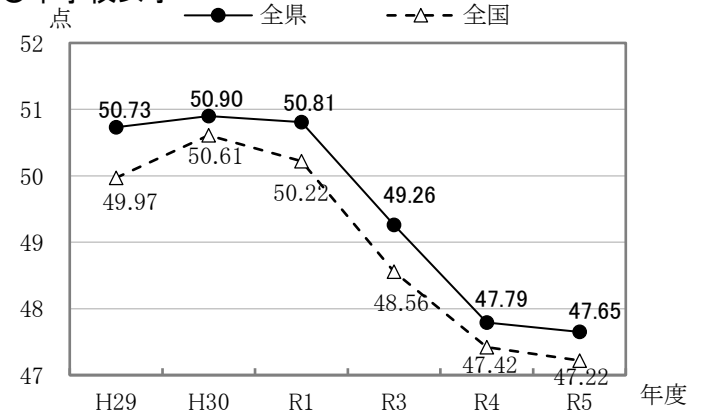
##### ○小学校女子



##### ○中学校男子



##### ○中学校女子



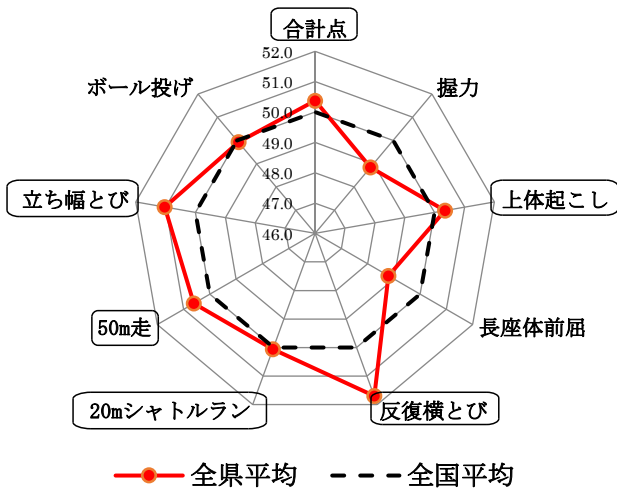
体力合計点：8項目の成績を1点から10点に得点化した合計点

※R2は新型コロナウイルスの影響により未実施

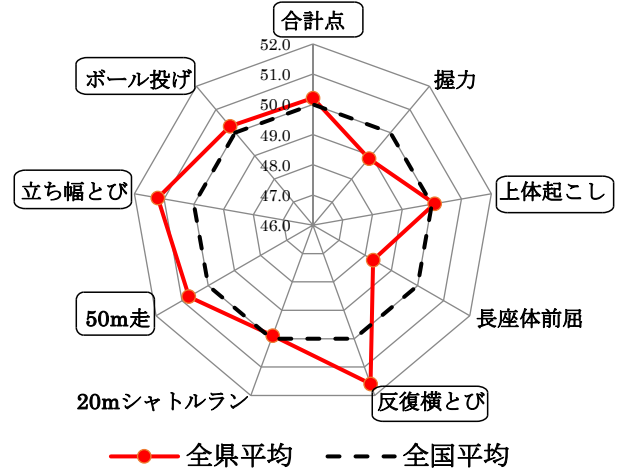
## (2) 体力合計点と各項目ごとの平均値

※項目を囲む □ は、全国平均以上のもの

### 【小学校男子】



### 【小学校女子】

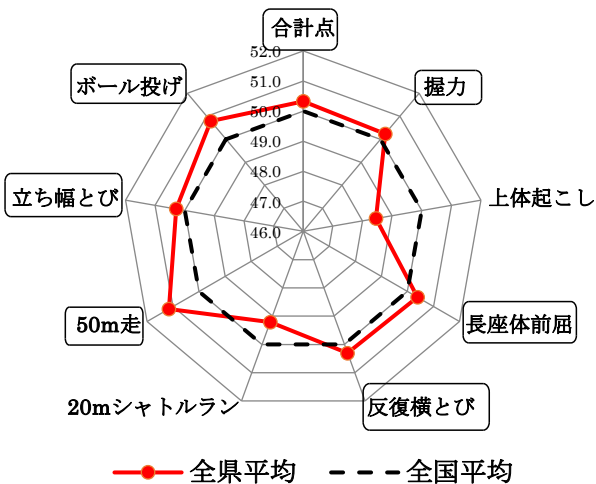


※全国平均を50とするTスコアによる比較

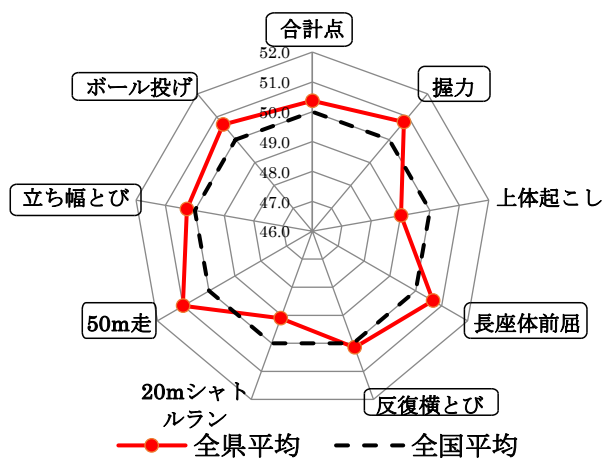
### 体力・運動能力について（小学校）

- 体力合計点は、男女ともにコロナ以前の水準に至っていないものの、これまでの低下に歯止めがかかり、全国平均を上回っている。
- 項目別で見ると、例年と同様、男女ともに握力、長座体前屈の結果が全国平均より低くなっているが、男女ともに反復横跳びは全国平均を大きく上回っている。

### 【中学校男子】



### 【中学校女子】



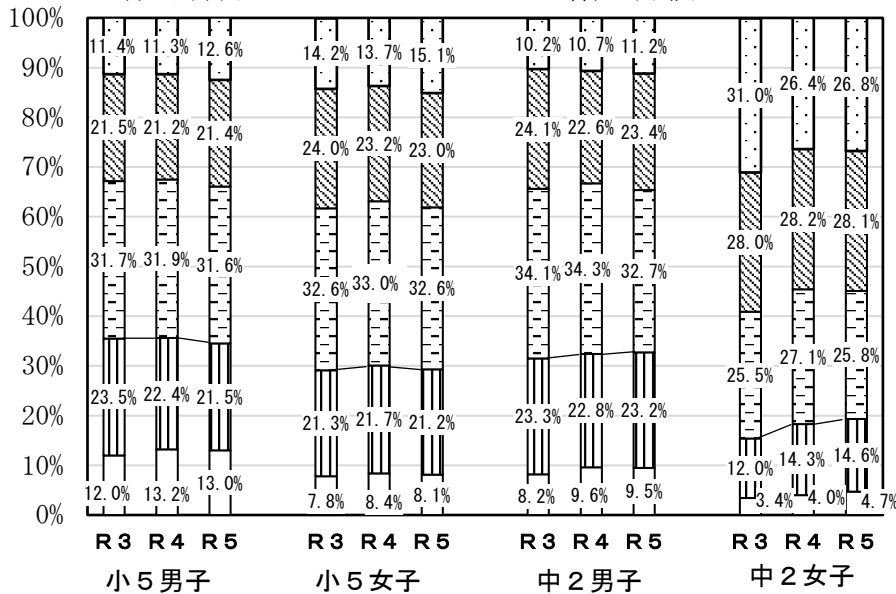
※全国平均を50とするTスコアによる比較

### 体力・運動能力について（中学校）

- 体力合計点は、男子については低下に歯止めがかかっている。女子については、昨年度までの急激な低下に歯止めがかかり、全国よりも低下は緩やかである。
- 項目別で見ると、例年と同様、男女ともに上体起こし、20mシャトルランの結果が全国平均より低くなっているが、その他6項目が昨年度と同様に全国平均より高くなっている。

(3) 総合評価の割合の年次推移 (全県)

※体力合計点により A～E の 5 段階で評価



段階	小5	中2
A	65点以上	57点以上
B	58～64点	47～56点
C	50～57点	37～46点
D	42～49点	27～36点
E	41点以下	26点以下

【総合評価の割合について】

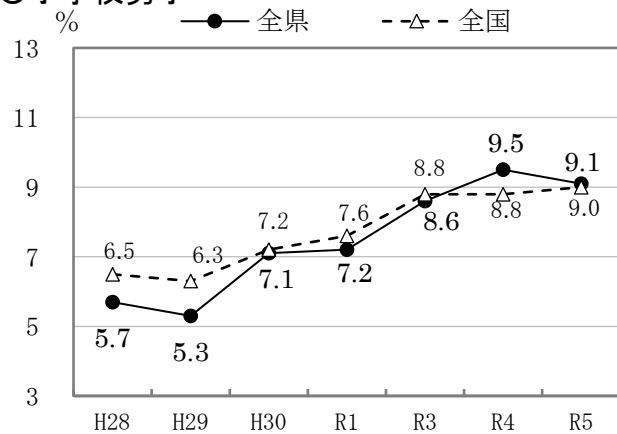
体力総合評価ABC群 (C以上) については、小学校男女が昨年と比較して微増、中学校男女が微減している。

運動習慣の状況 (岡山県公立学校の状況)

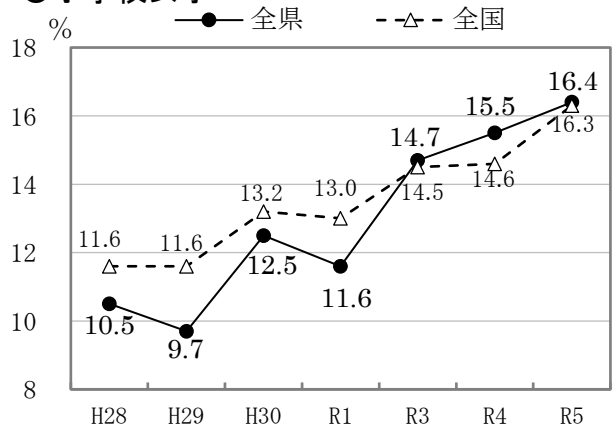
3 児童生徒質問紙調査の結果から見える特徴

(1) 運動時間について (1週間の総運動時間数が60分未満の児童生徒の割合の推移)

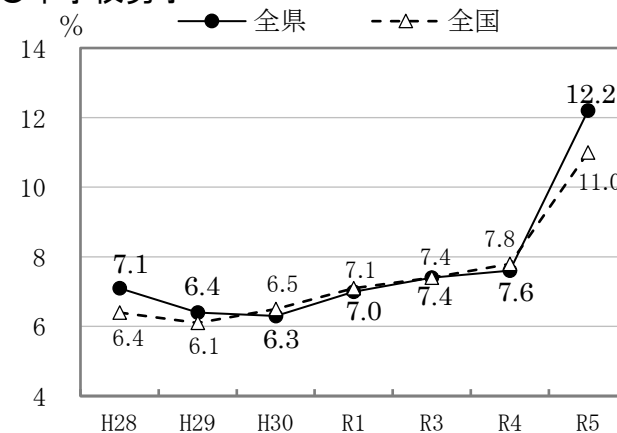
○小学校男子



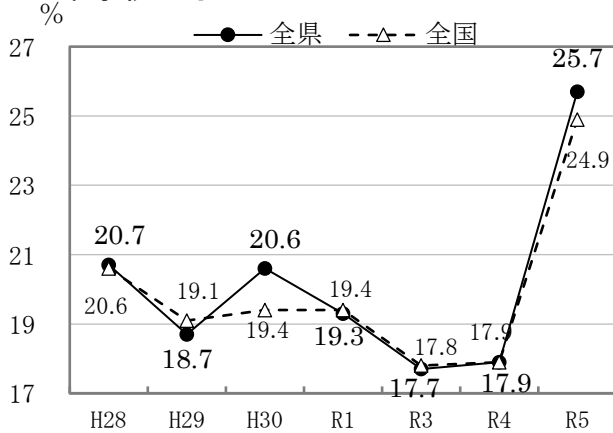
○小学校女子



○中学校男子



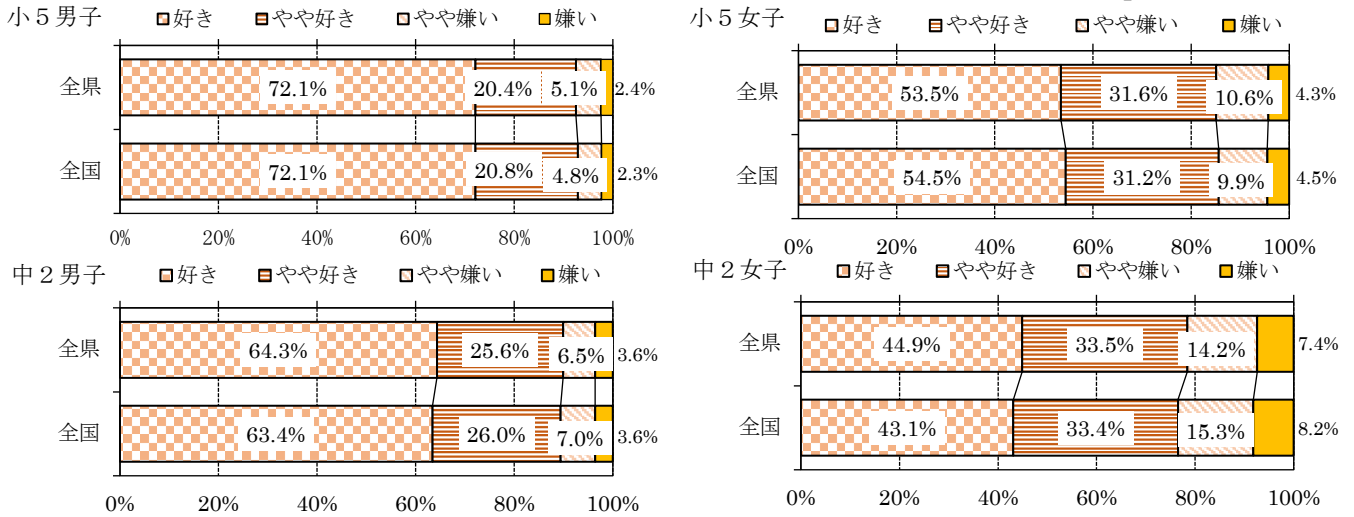
○中学校女子



【児童生徒の運動習慣について】

○「1週間の総運動時間数が60分未満」(つまり、1週間の意識的な運動が60分未満)と回答した割合は、小・中学校男女ともに全国平均より高く(多く)なっている。

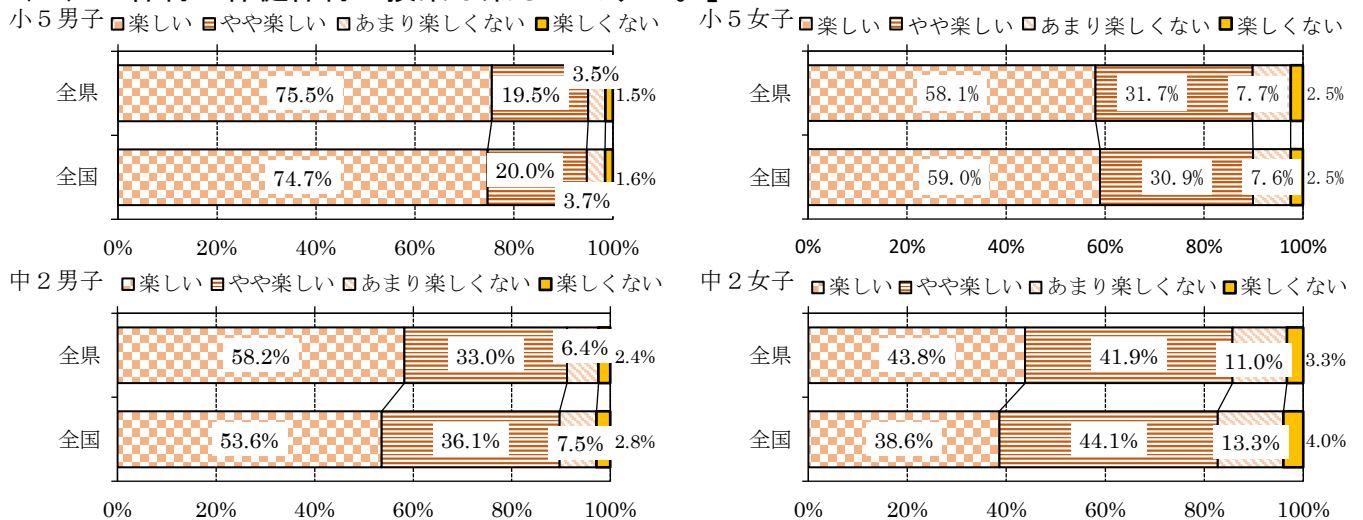
(2) 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか。」



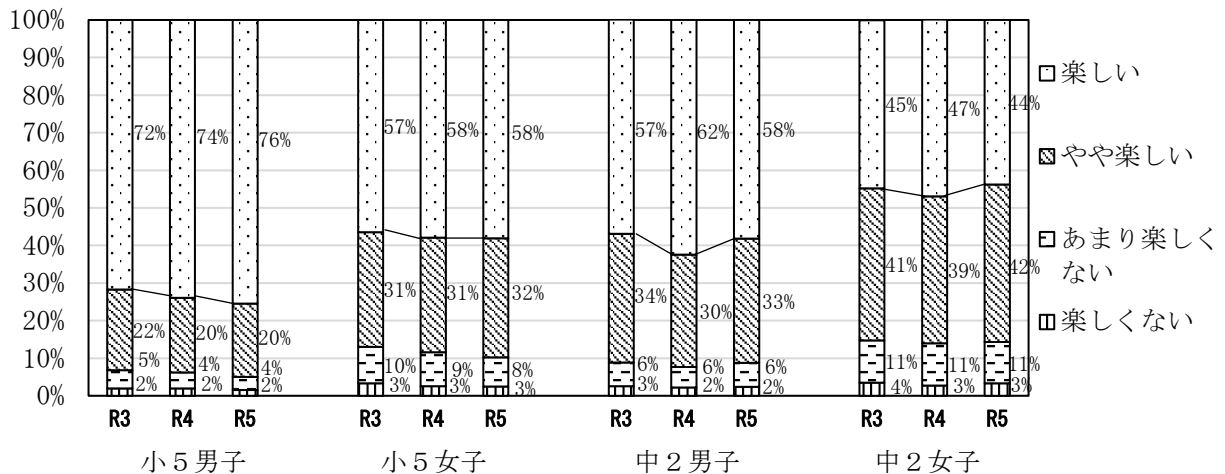
【児童生徒の意識について】

○ 「運動やスポーツをすることが好き」と感じている児童生徒の割合は、小学校男子では全国平均と同等で、小学校女子では全国平均より低くなっている。中学校では男女ともに全国平均より高くなっている。

(3) 「体育・保健体育の授業は楽しいですか。」



「体育・保健体育の授業は楽しいですか。」の割合の年次推移（全県）



【児童生徒の意識について】

○ 「体育・保健体育の授業が楽しい」と感じている児童生徒の割合は、小学校女子を除き全国平均より高くなっており、小学校では、昨年度の調査より高くなっている。

## 結果からの考察と課題及び今後の取組について

### 4 結果からの考察と課題

#### (1) 結果からの考察

- 小学校は、男女ともにこれまでの低下に歯止めがかかり、全国平均を上回った。これまで、児童に「達成感」、「成功体験」を与える授業改善や各事業に継続的に取り組んできた成果と考えている。
- 中学校は、男女とも全国平均より高い水準を維持している。これまで、生徒が主体的に取り組む保健体育の授業や効率的・効果的な運動部活動の取組の成果と考えている。

#### (2) 課題

- ア 「運動やスポーツをすることが好き」と回答する児童生徒が、各種計画等の目標値に達していない。
- イ 体育・保健体育の授業以外の運動時間が減少しており、運動習慣が定着しているとはいえない。
- ウ 全国平均より低い傾向が続いている種目への対応  
小学校 － 握力、長座体前屈  
中学校 － 上体起こし、20mシャトルラン

### 5 今後の取組（政令指定都市である岡山市を除く）

各学校において、本調査結果から明らかになった課題の解決に向けた実践が進むよう、市町村教育委員会と連携して、次のような体力向上に向けた取組を進めていく。

#### (1) 体力向上に向けた校内体制整備

- 体力向上担当者を校務分掌に位置づけるよう依頼
- 目標に応じた取組を「一校1チャレンジ」として、体力向上担当者を中心に学校全体で行う。

#### (2) 教員の指導力向上及び授業改善への対応

- 各種研修会等
  - ・各校の体力向上担当者を対象とした、体力向上研修会の実施
  - ・若手教員を対象とした、実技研修会の実施
- 指導力向上への支援
  - ・体育授業エキスパート派遣事業(R2～)

#### (3) 児童生徒への体力向上の意欲づけ及び運動習慣の定着等への対応

- 各種バッジによる、体力向上の意欲づけ
  - ・優秀賞バッジ(H11～)、マイベストバッジ(R1～)、運動マスターバッジ(R2～)



- みんなでチャレンジランキング(幼・小:H18～、中・高:H26～)

- 新体力クエスト(R2～)

